

## 1

## 子どもの人権

## みんなで考えよう、一人ひとりの権利

## 1 対象

小学校1年生～6年生、中学生

## 2 ねらい

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」をもとに、子どもの権利について学び、自分の権利を知るとともに、他者の権利を尊重しようとする意識を高める。また、その意識を学級活動に生かそうとする態度を育てる。

## 3 準備するもの

- ワークシート
  - グループ用ワークシート（A3）
  - 資料
  - 「子どもの権利条約カード」（黑板掲示用）…ユニセフウェブサイトにてダウンロード可
  - 「子どもの権利条約カード」（各グループへの配付用）…ユニセフウェブサイトにてダウンロード可  
【ダウンロードURL】<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryo/pdf/cardbook.pdf>
- ※事前に学年や学級の実状に合わせて、子どもたちに考えさせたい条文を選んでおいてもよい。
- ※（目安）低学年：5～10枚程度 高学年：10～20枚程度 中学校：20～30枚程度



## 4 解説

このワークでは「子どもの権利条約」に示されている子どもの権利について、自らが権利の主体であることを知ると同時に、自分もクラスメイトも持っている「権利」について考え、お互いの権利を尊重しようとする意識を高めます。

ワークの中で、「子どもの権利条約カードブック（第1条～40条）」（日本ユニセフ協会）を使います。発達段階や学級の実状によって使用するカードの枚数を調整し、話し合いながらお互いの権利について学ぶことができます。また、このワークで話し合ったことを、「学級目標」づくりなどに活用することもできます。

## 5 教科などとのつながり

特別活動 など

## 6 進め方（展開例） 45分または50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 6分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れや留意点の説明を聞く。</li> </ul> <p>◆アイスブレイキング（4分）</p> <p>「自分の幸せ時間」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自分が一日のうちで、一番幸せだと感じる時間を個人で考える。</li> <li>②グループで伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れを説明する。</li> <li>・P4〔学習の約束〕を伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人程度のグループで行う。</li> <li>・幸せだと感じる時間は、誰か（何か）によって守られている時間であることに気づけるとよい。</li> </ul>	

<p>展開 34分</p>	<p>◆アクティビティ（34分）</p> <p>①子どもの権利条約について知る。</p> <p>②学級で守られていると思う権利と守られていないと思う権利について、ワークシートの1に書く。</p> <p>③カードを使いながらグループで話し合う。</p> <p>④グループでの話し合いをもとに、「一人ひとりの権利が守られる学級をつくっていくために特に大切だと思う権利」と、その理由を考え、ワークシートの2に書く。</p> <p>⑤④についてグループで話し合う。</p> <p>⑥学級全体で「一人ひとりの権利が守られる学級をつくっていくために、特に大切だと思う権利」について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが安心して健やかに成長するためにはどのようなことが大切・必要か」について、子どもたちの発言を十分に聞いてから、「子どもの権利条約」を知らせる。</li> <li>・子どもの権利条約カードをグループに配付する。</li> <li>・1つに決められないときは「ベスト3」で考えるよう促す。</li> <li>・一人ひとりが自分の考えを持って、自分の意見を話すことも、権利の1つであることに気づけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料</li> <li>・ワークシート</li> <li>・子どもの権利条約カード（黒板掲示用）</li> <li>・子どもの権利条約カード（グループ配付用）</li> <li>・グループ用ワークシート</li> </ul>
<p>まとめ 小学校 5分 中学校 10分</p>	<p>◆まとめ（小5分、中10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利について感じたことや気づいたこと、お互いの権利が守られるためにどのような学級にしていきたいと思ったかを、ワークシートの3に書く。</li> </ul> <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループや全体で考えを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの権利が守られるために、自分に何ができるかを考えることにつなげる。</li> <li>・児童・生徒の記述はまとめて学級に掲示したり、学級目標をつくったりする際に活用するとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も権利を持っているように、他者も権利を持っている。お互いの権利を知ること</li> <li>・お互いをより尊重することができる。</li> <li>・お互いの権利を守るために、自分にできることは何かを考えることが大切である。</li> </ul>			

<参考資料など>

- ・「『子どもの権利条約』を学級経営に生かそう」日本ユニセフ協会（令和6年12月）  
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/CREhandbook.pdf>
- ・「子どもの権利条約カードブック」日本ユニセフ協会（令和4年8月）  
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/cardbook.pdf>

みんなかんがで考えよう、一人ひとりひとりの権利けんり

( )年( )組( )番 名前 \_\_\_\_\_

- 1 「子どもの権利条約カード」を見て、学級がっきゅうで守られているまもと思う権利けんりはどれですか。  
また、守られていないまもと思う権利けんりはありますか。(「第〇条」の番号ばんごうだけでもよいです。)

まも 守られている	どちらとも い 言えない	まも 守られていない
--------------	--------------------	---------------

- 2 一人ひとりの権利けんりが守られる学級がっきゅうをつくっていくために、学級がっきゅうで特に大切だとくと思う権利けんりはどれですか。  
理由りゆうも書いてみましょう。1つに決められないときは、「ベスト3」かんがを考えてみましょう。

えら 選んだもの	りゆう 理由
-------------	-----------

- 3 今日きょうの授業じゆぎょうを受けて、子どもこの権利けんりについて感じたことかんや気づいたこときはありますか。また、お互いたがの権利けんりが守られるために、どのような学級がっきゅうにしていきたいと思いましたか。

<p>〈子ども<small>こ</small>の権利<small>けんり</small>について感じたこと・気づいたこと〉</p>
<p>〈こんな学級<small>がっきゅう</small>にしていきたい(そのために自分<small>じぶん</small>ができそうなこと)〉</p>

こ け ん り じ ょ う や く  
「子どもの権利条約カード」を置きながら、グループで話し合ってみましょう。

<p>まも 守られている</p>	<p>い どちらとも言えない</p>	<p>まも 守られていない</p>
----------------------	------------------------	-----------------------

## 子どもの権利条約ってなんだろう

この地球で暮らす子どもたち。みんなが幸せに、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長してほしい。それは、世界共通の願いです。

でも見わたしてみると、まずしい暮らしに苦しんでいたり、自然災害や戦争に巻き込まれたり、家族や住む家をなくしたり、学校に通えなかったり、暴力や差別を受けたり、子どもたちはさまざまな問題に直面していることがわかります。

そこで、世界の子どもと健やかな成長を守るために活動するユニセフ（国際連合児童基金）をはじめ、国際機関や世界の国々が協力して、世界のすべての子どもがもつ権利を定めた「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」を作り、ここに書かれた子どもの権利を守っていこうと約束しました。1989年のことです。日本も1994年にこの条約に入りました。2025年末時点で、196の国と地域がこの条約に入っており、これほど世界で広く受け入れられている条約はほかにありません。

## 「子どもの権利条約」4つの原則

子どもの権利条約の基本的な考え方は次の4つで表されます。それぞれ条文に書かれた権利であるとともに、あらゆる子どもの権利を考えるとときに合わせて考えることが大切な「原則」としてとされています。

### 命を守られ成長できること

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。

### 子どもにとって最もよいこと

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

### 意見を表明し考慮されること

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

### 差別のないこと

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。